

(3) 本年度の学校評価

本年度の 重点目標	① 個別最適な学びにつながる探究的な学びの実践。 ② 豊かな人間性の育成と地域連携（チーム安高）の形成。 ③ 教職員の多忙化解消（安高働き方改革）の推進。		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	留意事項
学習指導 （教務部） （進路指導部） （学年会） （教科会） （生活文化科）	主体性を高める学習支援とその工夫	・粘り強く学びに向かうための指導改善	・自己の学びをコントロールし、粘り強く学ぼうとする態度を育成するための学習支援の在り方を検討する。
	探究学習の充実	・行政や企業と連携した探究学習活動の計画	・安城市役所や市内の複数企業と連携する。 ・効果的な学習支援ツール導入を検討する。
進路指導 （進路指導部） （学年会）	3年間の進路指導計画の確立と工夫改善のための研究	・3年間を見通すために学年ごとに目標を設定した進路指導の模索 ・学年ごとに細かく進路指導を計画する	・キャリア教育の視点に立った進路指導を実現するために、時代や生徒の変化に対応した具体的な進路指導を実践する。 ・生徒の進路希望を最大限に実現できるような進路情報をきめ細かく提供する。
	進路目標の実現	・各学年に応じた進路目標を設定し、それを具現化する	・地域保護者が求めている進路実績を目指す。また、生徒自身の納得のいく進路を実現する。 ・各学年の進路目標達成のために、大学見学や職業人講話などにより、進路目標の設定を手助けする。
生徒指導 （生徒指導部） （学年会）	基本的生活習慣の確立	・遅刻数の減少 ・身だしなみや挨拶、マナーの日常指導の実施	・朝の立ち番により、始業5分前登校を習慣付ける。 ・教員の共通理解と、予防的な指導のための体制づくりに取り組む。日常的な指導により、特別指導案件を減らす。
	自己防衛力の育成と問題行動の防止	・交通安全指導の充実と規範意識の涵養 ・いじめ防止対策	・警察や地域との協力関係を維持し、自転車運転のマナーを向上させる。規範意識や社会的常識を高め、トラブルを起こさない、巻き込まれないようにする。 ・担任団と連携をし、初動の意識を高める。
生徒会活動 （特別活動部） （学年会） （生活文化科）	安高祭でリーダーシップ・フォローシップを育む	・生活文化科・普通科の混合団による縦割編成実施。	・科・学年を超えたクラス、部活動、教職員などがコミュニケーションをとりながら、一丸となって取り組む。
	部活動の充実	・部活動によるやり抜く力の育成	・職員の理解と協力がある中で活動できることを生徒に理解させ、達成感や充実感を味わわせる。
学校安全 学校保健 （総務部） （保健相談部）	防災意識の充実	・防災避難訓練の実施 ・防災教育の実施	・4月、9月に防災訓練を実施し、避難経路と防火・防災組織を確認するとともに、防災意識の向上を図る。 ・9月には防災教育を実施する。
	主体的に行動できる能力や態度の育成	・環境美化活動の推進 ・自己の心身の健康管理に努める ・教育相談体制の充実 ・現職研修の実施（相談）	・生徒が自主的に清掃活動を行えるような指導と環境づくりに努める。 ・専門家を招いた救急法講習会実施し、生徒・職員の参加を促す。 ・S Cの活用や教育相談の現職研修の実施により、生徒が相談しやすい環境づくりに努める。
研修 （図書情報部）	現職研修の充実 I C T機器の活用	・研修内容の充実 ・I C T機器の活用を促進	・I C T機器に関する研修を充実させ、業務の効率化を図る ・I C T機器の配備等の環境を整備し、活用を促す
学校関係者評価を実施する 主な評価項目		・I C T機器の活用、および教科横断型や探究型の授業の推進 ・部活動、学校行事の活性化、地域連携の推進 ・業務精選による勤務時間の適正な管理と部活動指導の負担軽減、健康増進	